# SG146

# 簡易取扱説明書

バーコードスロットリーダ SG146(以下、本機と称す)をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前に必ずこの簡易取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、お読みになられた後は、大切に保管願います。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

**■表記上のお約束**

**注意** 本機を使用する際に注意していただきたいことを説明しています。

**メモ** 本機を使用する際の補足的なことを説明しています。

## 特長

- IP54 対応の頑丈なケースに入れられ光学系は防塵・防水に対して保護
- 両方向読み取り可能なため設置の自由度が高い
- 壁掛け設置に対応
- 読み取り速度　50 mm から 700 mm/秒

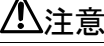
**注意**　本機で二次元バーコードの読取りは行えません。

## 梱包内容の確認

リーダ本体
１台

CD(8cm)
１枚

テストラベル
１枚

簡易取扱説明書（本書）
１部

**メモ** 添付CDには、Scanner Configuration Manager(SCM) ソフトウェアが保管されております。本ソフトウェアは、本機へ独自の設定を行うときの便利なツールです。独自設定を必要とする場合は、インストールを行ってください。

## 安全上のご注意

ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本製品のご使用の前に必ず本内容をよくお読みになり、お守りくださるようお願いします。

**■本書の記載内容を守らない使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| ⚠警告 | この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示の欄は「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

**■お守りいただく内容の種類を次の絵区分で説明しています。**

| 表示 | 内　容 |
|---|---|
| 禁止 | この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。 |
| 分解禁止 | この記号は、「分解」を禁じる内容です。 |
| 覗き込み禁止 | この記号は、「覗き込むこと」を禁じる内容です。 |

| | |
|---|---|
| 注意 | 一般的な機器の取扱上で何らかの注意が必要で、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性があることを促す警告表示です。 |
| プラグを抜く | 故障により、人に何等かの危害または、機器に何等かの障害が起こる可能性がある場合、パソコンのＵＳＢポートから抜くことを促すための警告表示です。 |

### ⚠危険

| | |
|---|---|
| 分解禁止 | 分解したり改造したりしないでください。ショートや発熱より、感電ややけど・火災の原因となります。 |

### ⚠警告

| | |
|---|---|
| プラグを抜く | 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。本機接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。 |
| プラグを抜く | 万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず本機接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |
| プラグを抜く | 万一、この機器を落としたり、機器のケースを破損した場合は、本機接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |

### ⚠警告

| 表示 | 内　容 |
|---|---|
| 注意 | 接続ＵＳＢケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |
| 禁止 | 接続ＵＳＢケーブルの上に重い物をのせたり、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。接続ＵＳＢケーブルが傷ついて、火災・感電の原因となります。 |
| 分解禁止 | 接続ＵＳＢケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。接続ＵＳＢケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。 |

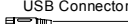
### ⚠注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | 油煙や湯気があたるような場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。 |
| 禁止 | 濡れた手で接続ＵＳＢケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 |
| 禁止 | 接続ＵＳＢケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。 |
| プラグを抜く | 本機器のお手入れの際には、安全のためまず本機接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いて行ってください。火災・周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| 禁止 | 落下させたり、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。 |

| | |
|---|---|
| 禁止 | 小児には使用させないでください。 |
| 禁止 | 直接日光のあたるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。 |

## 使用上のご注意

本機の性能を損なわずに正常に動作させるため、下記の事項に注意してください。
- 本機に過度のストレスを加えないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因になります。
  - ・直接日光の当たる場所　・磁界や誘導ノイズが発生する場所　・ほこりの多い場所
  - ・湿度の高い場所　・水の近くや水のかかる場所　・振動や衝撃がかかる場所
  - ・温度が極端に高い場所　・温度が極端に低い場所　・不安定な場所

また、保管の際も上記の環境にご留意ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。
- 本機は、設定データ保存用に不揮発性メモリを搭載しています。本機への設定を行っている最中にＵＳＢケーブルを抜かないでください。データが破壊され、誤動作を起こす可能性があります。
- 本機を清掃する場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を薄めたものを少量含ませた柔らかい布で内部に水分が入らないように拭いてください。

## インストール及び接続方法

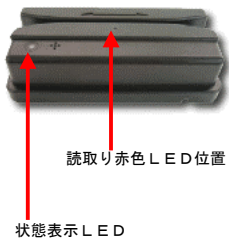
USB インターフェースケーブル付きの本機をパソコンの USB ポートに接続してください（図１を ご参照ください)。パソコンは本機をＵＳＢ機器として認識し、自動的に必要なドライバを設定更新します（ＯＳよってはドライバをインストールするために、ＯＳのセットアップ CD を必要とする場合があります）。

図１. 接続図

**メモ** 本機とホスト機器を初めて接続する場合は、USBドライバのインストールが必要です。各OSのインストールウィザードに従って、USBドライバのインストールを行ってください。OS(Win98 等)によっては、OSのセットアップCDが必要となります。インストールウィザードにより、ドライバCDの要求があった場合は、OSのセットアップCDを使用してください。

## 操作方法

本機をパソコンに接続後、キーボード入力の可能なアプリケーション（エディタ、ワープロ）を起動して手動でバーコードを走査（左右どちらの方向からでも読取り可能）させて読ませてください。バーコードを読込むと本機は“ピッ”とブザーを鳴らします。パソコン上のアプリケーションに読込んだバーコードのデータが表示されていれば、本機が正常にＵＳＢ機器としてパソコンに認識されています。

## 本機の外観

●**読取り赤色ＬＥＤ位置**にバーコード面を当てて、読取り走査を行ないます。

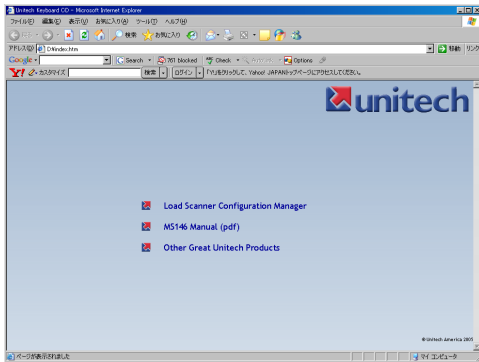
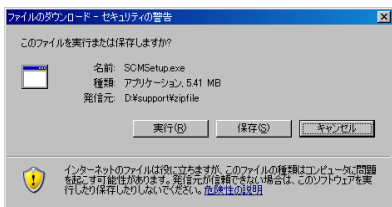
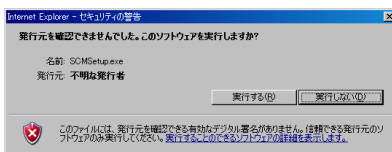
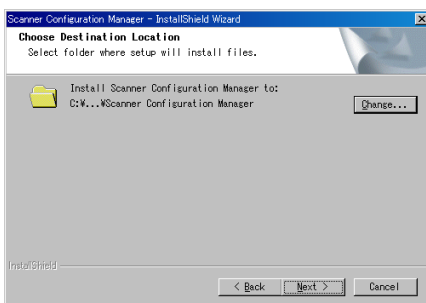
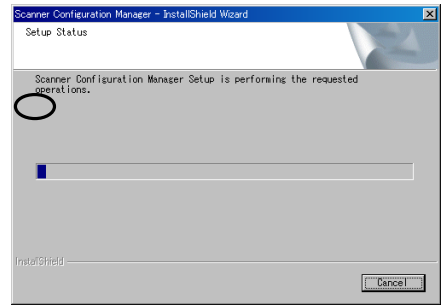
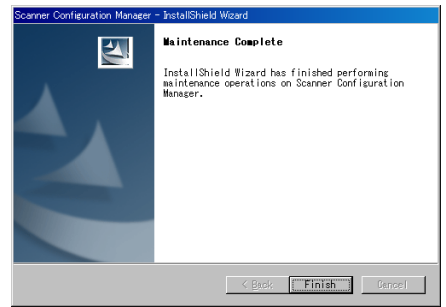
●**状態表示ＬＥＤ**は２色（赤・オレンジ）に点灯します。
赤…………バーコード読込中またはアイドル状態時に点灯します。
オレンジ…読取り完了時に点灯します。

メモ　上記LED表示は工場出荷時設定での状態です。

## Scanner Configuration Manager(SCM)のインストール

まず添付のＣＤ－ＲＯＭをパソコンのドライブにセットします。ＣＤ－ＲＯＭは自動起動になっていますが起動しないときはＣＤ－ＲＯＭ内の index.htm をダブルクリックして起動します。このあとはウィザードに従って操作して下さい。

**1**
自動起動または index.htm をダブルクリックします。

**2**
[Load Scanner Configuration Manager] をクリックします。

**3**
[実行(R)]ボタンをクリックします。

**4**
[実行する(R)]ボタンをクリックします。

**5**
インストールフォルダを確認し、[Next>]ボタンをクリックします。
※デフォルトでは C:¥Program Files¥Unitech¥Scanner Configuration Manager です。
※フォルダを変更する場合は、[Change...]ボタンをクリックします。

**6**
自動的にインストールされます。

**7**
インストールが完了しました。[Finish] ボタンをクリックします。

**8**
デスクトップにアイコンができます。

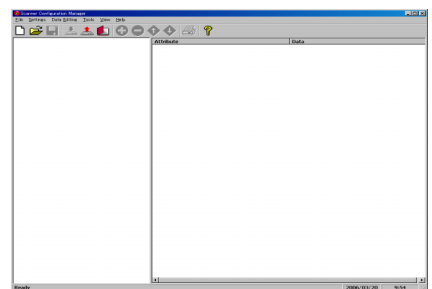
## Scanner Configuration Manager (SCM) ソフトウェア

Scanner Configuration Manager(以下、SCM と称す) ソフトウェアは本機の設定を簡単に行うための便利なツールです。以下に操作方法について簡単に説明します。
※詳細な操作説明・設定内容につきましては、｢SG146 バーコードスロットリーダユーザーズ・マニュアル｣をご参照ください（下記 URL より入手可能です)。
http://www.systemgear.co.jp/support/dl_manual/dlm_top_s.html

### １起動

SCM アイコンをクリックし、SCM ソフトウェアを起動します。

### ２初期画面

右記の画面が表示されます。
空白の作業エリアと上部にアイコンの列があります。
以下に各アイコンの説明を行います。

  

左記のアイコンは Windows 標準アイコンで、左から右へ、”新規作成”､”開く”、そして”上書き保存”です。SCM　は設定を .cfg ファイルに保存します。本機を工場出荷時の標準値にリセットするには “新規作成” アイコンをクリックし、操作されていない設定を本機にダウンロードします。

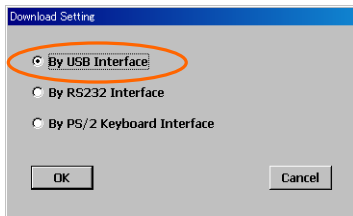
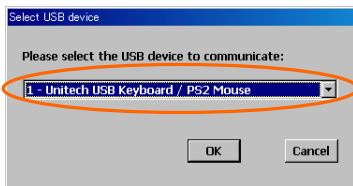
左記のアイコンは、左から右へ、設定のダウンロード(パソコンから本機)、そして設定のアップロード(本機からパソコン)を表します。三番目のアイコンは本機からのデータ出力を確認するためのテストパッドを開きます。

左記の四つのアイコンは SCM の”Data Editing(データ編集)”で使用されます。左から右に、 “Add a Formula” アイコン、“Remove a Formula” アイコン、右の二つのアイコンは “Move Formula” アイコンで、選択した Formula をそれぞれ上下に移動します。データ編集については、｢SG146 バーコードスロットリーダユーザズマニュアル｣の 22 ページをご参照ください。

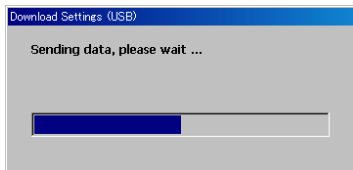
## 3本機へのダウンロード

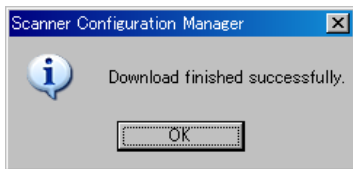
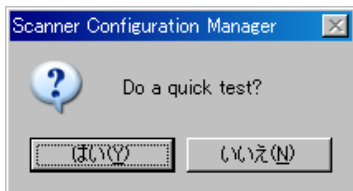
(1)

SCM の設定を行ったら、ダウンロードアイコン(前ページ参照)をクリックします。
右のポップアップボックスが表示されます。
「By USB Interface」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

(2)

右のポップアップボックスが表示されます。
「1-Unitech USB keyboard / PS2 Mouse」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

(3)

ダウンロードが開始されると右のポップアップボックスが表示され、本機の赤 LED は赤⇔オレンジと交互に点滅します。

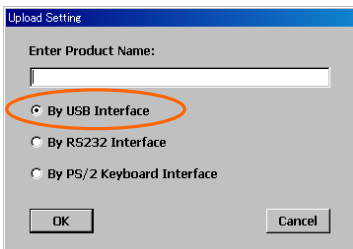
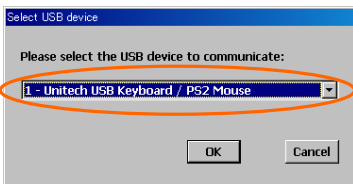
(4)

ダウンロードが正常に終了すると右のポップアップボックスが表示されます。
［ＯＫ］ボタンをクリックしてください。
※失敗するとエラーメッセージが表示されます。この場合、設定は行なわれておりません。

(5)

バーコードの読取りテストを行うときは、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。テストパッドが表示されます。
※バーコード読取りテストを行なわないときは、[いいえ(N)] ボタンをクリックしてください。初期画面に戻ります。

## 4本機からのアップロード

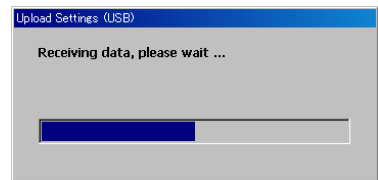
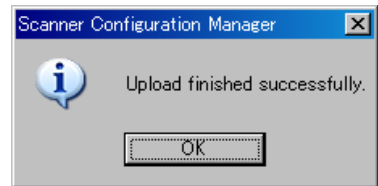
(1)

本機の設定内容を確認するときは、アップロードアイコン(前ページ参照)をクリックします。

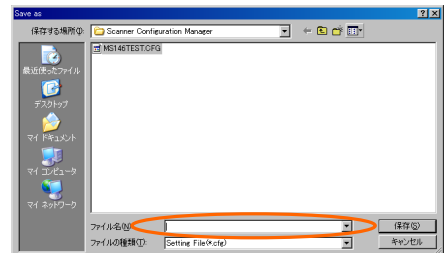
右のポップアップボックスが表示されます。
Enter Product Name：に製品名(例えば「SG146」)を入力し、「By USB Interface」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

(2)

右のポップアップボックスが表示されます。
「1-Unitech USB key board / PS2 Mouse」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

(3)

アップロードが開始されると右のポップアップボックスが表示され、本機の赤 LED は赤⇔オレンジと交互に点滅します。

(4)

ダウンロードが正常に終了すると右のポップアップボックスが表示されます。
［ＯＫ］ボタンをクリックしてください。
※失敗すると、エラーメッセージが表示されます。

## 5設定内容の保存

(1)

設定内容を保存するときは、[File] -[Save As…]をクリックします。
右のポップアップボックスが表示されます。
ユニークなファイル名を入力し、[保存 (S)] ボタンをクリックします。
設定内容が入力したファイル名で保存されます。

## 設定パラメータの理解

設定パラメータは色々なアプリケーションで動作するように設定することができます。これらを以下で説明します。

**●Beeps and Delays - Inter Character Delay**

文字間ディレイは本機が最初の文字を送った後で次の文字を送る前に待つ時間間隔です。
本機によって送られたデータがパソコン上で文字化けや文字欠けを起こす場合、文字間ディレイ時間を長く設定してください。
デフォルトは、"**1ms**" です。

**●Beeps and Delays - Beep Tone**

トーンの大きさを設定するために "None" から "High" の値を選択します。あるいは、トーンの特性を設定するために "Low to High" または "High to Low" を選択します。
デフォルトは、"**Medium**" です。

**●Keboard Wedge - Language (キーボード仕様)**

このパラメータはキーボードの、現在の Caps-Lock の状態を知らせるので、本機で送信される文字が同じようになります。
デフォルトは、"**Auto Trace**" です。

＊ Auto Trace:

監視ありモードの場合、本機は Caps-Lock の状態を自動的に合わせます。
あるパソコンでは、スキャン性能が自動トレースしているために低下するかもしれません。
スキャン性能が悪い場合あるいは本機が大文字、小文字を正しく出力しない(機能が働かない)場合、監視なし設定を選択してください。

＊ Lower Case:

キーボードがシフトしていない状態(Caps-Lock がＯＦＦ状態)で、バーコード読取りを行なう時は、「監視無し(ＯＦＦ固定)」を選択してください。

＊ Upper Case:

キーボードがシフトしている状態(Caps-Lock がＯＮ状態)で、バーコード読取りを行なう時は、「監視無し(ＯＮ固定)" を選択してください。

●Keboard Wedge - Language（キーボード仕様）

＊ U.S.：

米国英語仕様キーボード（101 キーボード等）を使用する時は、「U.S.キーボード」を選択してください。デフォルトは、**"U.S."** です。

＊ Japanese：

日本語仕様キーボード（106 キーボード、109 キーボード等）を使用する時は、「Japanese キーボード」を選択してください。出荷時設定は、**"Japanese"** です。

＊ Alt Key Mode：

ALT キーモードは、国別設定時の選択です。ALT キーと数字キーパッドのキーによる文字を送出することは MS-DOS の機能です。ALT キーモードを選択する場合、本機は読取ったバーコードの各文字を表すために ASCII 組み合わせコードを送出します。システムが ALT キーの送出を受け入れる場合、このモードを使用可能にして、「Caps-Lock 状態設定」 と「国別設定（キーボード仕様）」　の選択を無視します。

**注意**　キーボード仕様のデフォルト値は、「U.S.」となっています。出荷時は「Japanese」の出荷時設定を行い出荷しておりますが、デフォルト値に戻しますと、日本語仕様キーボード環境下では、バーコード読取りを行なうと、記号（'＋'、'＊'、'('、')' 等）の送出データが化けます。「Japanese」へ設定変更してからご使用ください。

## 仕様

| | |
|---|---|
| 読取りバーコード | JAN-13/8、EAN-13/8、UPC-A/E、インターリーブド 2of5、インダストリアル 2of5、CODABAR（NW-7）、CODE39、CODE93、CODE128、GS1-128（UCC/EAN-128） |
| 読取りＬＥＤ位置 | スロット部底辺から上方向約 11mm<br>※バーコードの印刷は、読取りLED位置から上下4mm 以上の幅（バーコード高さ 8mm 以上）を確保するように印刷してください |
| 読取り深度 | 2mm |
| カード最大厚み | 1.37mm |
| 光源 | 赤色LED（660nm） |
| センサー | フォトダイオード |
| 分解能 | 0.15mm |
| ＰＣＳ | 0.6 min |
| スキャン速度 | 50mm～700mm／秒 |
| 読取り確認 | ブザー |
| インターフェース | USBインターフェース |
| 供給電源 | パソコンのUSBポートより供給 |
| 寸法 | 53(W)×128(D)×33(H)mm |
| 重量 | 約 180g（本体のみ） |
| ケーブル長 | ストレートケーブル 約 180cm |
| 使用温度 | 0～50℃ |
| 使用湿度 | 5～95%（非結露） |
| 保存温度 | -20℃～60℃ |
| 保存湿度 | 5～95%（非結露） |

## お問い合わせ

### ■一般的なお問合せ・Web 販売について

**株式会社システムギアダイレクト**

〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町 30 番 12 号
TEL ： 0797-74-1114
FAX ： 0797-74-2212
E-Mail： Web-buyer@nsd-inc.co.jp

### ■技術的なお問合せについて

**サポートデスク**

E-Mail： support@nsd-inc.co.jp
TEL ： 0797-74-1114
FAX ： 0797-74-2212

**サポートサイト**

URL ： http://www.systemgear.co.jp/support/

**最新情報**

URL ： http://www.systemgear.com/sales/

### ■修理・保守について

**株式会社システムギアダイレクト**

〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町 30 番 12 号
TEL ： 0797-74-3575
FAX ： 0797-74-2212
E-Mail： repair@systemgear.co.jp

**製品保証情報**

URL ： http://www.systemgear.com/warranty/

**オンライン修理受付**

URL ： http://www.systemgear.com/rp/



2009/12　第 1 版　(GW05KA009-1)